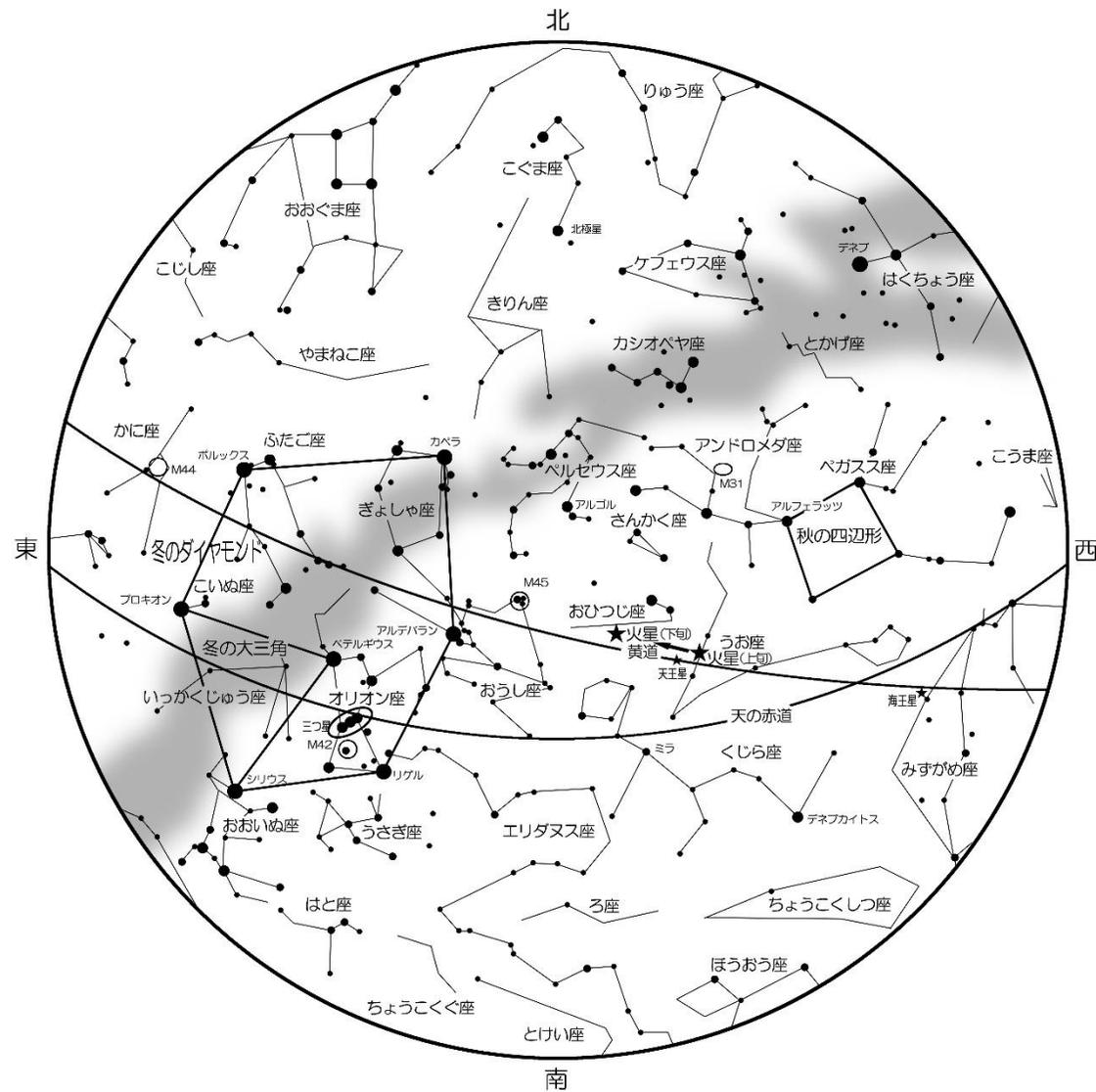


令和3年 1月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★1月の星空案内

今月の星座探しは、等間隔に並んだ3つの星“三つ星”が目印のオリオン座を見つけることから始めましょう。“三つ星”の北東（左上）には1等星ベテルギウス、南西（右下）には1等星リゲルが輝きます。ベテルギウスはその赤っぽい色から“平家星”、青白っぽく輝くリゲルは“源氏星”とも言われます。オリオン座の“三つ星”を北西（右上）にのばしていくと、オレンジ色っぽく輝くおうし座の1等星アルデバラン、反対に南東（左下）にのばしていくと、全天で最も明るく輝くおおいぬ座の1等星シリウスが見つかります。そして、シリウスから北東に視線を移していくと、こいぬ座の1等星プロキオンが見つかります。このプロキオン、シリウス、ベテルギウスを結んでできる三角形を『冬のダイアモンド』といい、冬の星座探しのよい目印となります。プロキオンの北で明るく輝く星はふたご座の1等星ポルクス。その西側でやや黄色っぽく輝いているのが、ぎょしゃ座の1等星カペラです。このカペラを頂点にして、ポルクス、プロキオン、シリウス、リゲル、アルデバランの6つの1等星を結んでできる大きな六角形を『冬のダイヤモンド』と言います。あたたかい格好をして夜空を見上げ、頭上に広がる大きな冬のダイヤモンドをぜひ探してみてください。

< 現在見える惑星 >

水星(-0.6等前後): いて座→やぎ座付近	日没後、西南西の低空で輝く。(下旬)
金星(-3.9等前後): へびつかい座→いて座付近	夜明け前、南東の低空でひととき明るく輝く。
火星(0.1等前後): うお座→おひつじ座付近	20時頃、南西の空で赤っぽく輝く。
木星(-1.9等前後): やぎ座付近	観察に適さない。
土星(0.6等前後): やぎ座付近	観察に適さない。

2021年 注目の天文現象(まとめ)

- 1月 3日: しぶんぎ座流星群が極大(23時頃、見ごろは3日夜更け~4日夜明け)
 - 3月10日: 明け方、東の低空で土星、木星、水星が直線状に並び、土星に月が接近
 - 5月26日: 皆既月食※(福岡 月の出19時11分頃、食の最大20時18分頃、食の終わり21時52分頃)
 - 6月10日: カナダ、グリーンランド、ロシアで金環日食(日本では見られない)
 - 8月13日: ペルセウス座流星群が極大(4時頃、見ごろは12日の宵から翌未明: 条件最良)
 - 9月21日: 中秋の名月
 - 11月19日: 部分月食※(福岡 月の出17時10分頃、食の最大18時2分頃、食の終わり19時47分頃)
 - 12月 4日: 南極大陸で皆既日食(日本では見られない)
 - 12月 8日: 夕方、南西の低空で木星、土星、金星がほぼ等間隔に並び、土星に月が接近
 - 12月14日: ふたご座流星群が極大(16時頃、見ごろは14日の夜半過ぎから夜明け: 条件最良)
- ※5/26、11/19の福岡で見る月食は、月食が始まり、欠けた状態で地平線上に昇ってくる月出帯食となります。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
3	日	しぶんぎ座流星群が極大(23時頃) 【条件悪】	21	木	☾ 上弦 (06:02)
6	水	☾ 下弦 (18:37)	24	日	水星が東方最大離角
13	水	● 新月 (14:00)	29	金	☉ 満月 (04:16)